

群馬大学附属図書館所蔵理系明治期教科書-和装本- の考察 : その由来と目録

著者名(日)	玉置 豊美, 赤羽 明, 高橋 浩, 森下 貴司, 滝沢 俊治, 所澤 潤
雑誌名	埼玉医科大学医学基礎部門紀要
巻	10
ページ	1-16
発行年	2004-03-31
URL	http://id.nii.ac.jp/1386/00000012/

原 著

群馬大学附属図書館所蔵理系明治期教科書一和装本一の考察

その由来と目録

玉置豊美^{A,E}, 赤羽 明^B, 高橋 浩^A, 森下貴司^{C†}, 滝沢俊治^A, 所澤 潤^D

群馬大学工学部工学基礎Ⅱ^A, 埼玉医科大学医学基礎部門物理学教室^B, 前橋育英高等学校^C,
群馬大学教育学部附属学校教育臨床総合センター^D, 数理設計研究所^E

^{A,D}371-8510 群馬県前橋市荒牧町 4-2, ^B350-0496 埼玉県入間郡毛呂山町川角 981,

^C371-0832 群馬県前橋市朝日が丘町 13, ^E371-0816 群馬県前橋市上佐鳥町 54-2

We have found many textbooks, which were used in Meiji-era and have not been registered yet, in the usual and special book-stock rooms of Gunma University Library. Most of them were inherited from the Gunma Normal School and the Gunma Woman Normal School. In this report, 276 school-science Japanese-style textbooks whose lists were made by us are picked up. Our policy and specification to make the list of one book are written down and all lists are shown in tables 1~6. We discuss the origin of the textbooks by several kinds of stamps put on them.

要旨

我々は群馬大学附属図書館本館書庫並びに特殊資料室に、未登録明治期教科書が大量に保管されていることを知った。蔵書の多くは旧群馬県師範学校、群馬県女子師範学校から継承されたものであった。本稿ではその中から我々による目録化がなされた理系和装本 276 冊を取り上げる。まず、我々による目録化に至る経緯を述べる。次いで目録作製の方針・細則を述べ、目録を掲載する。さらに、目録中の初所蔵を示す蔵書印に着目し、図書の由来ともなるその由来について考察する。

key words 群馬大学附属図書館, 群馬県師範学校, 群馬県女子師範学校, 郷土研究, 理系明治期教科書,
熊谷県暢發学校, 群馬県医学校

Study on Meiji-era School-Science Japanese-style Textbooks stored in Gunma University Library: Origin and Lists

Faculty of Engineering, Gunma University^A, Premedical Course, Saitama Medical School^B,

Maebashi Ikuei Senior High School^C, Faculty of Education, Gunma University^D,

Mathematical Assist Design Laboratory^E

Toyomi Tamaki^{A,E}, Akira Akabane^B, Hiroshi Takahashi^A,

Takashi Morishita^{C†}, Toshiharu Takizawa^A, Jun Shozawa^D

† 現住所 (present address)

前橋市立南橋中学校 371-0044 群馬県前橋市荒牧町 975

Maebashi municipal Nankitsu junior high school

1. はじめに

平成 13 年 6 月, 我々は群馬大学附属図書館本館 (以下図書館) 書庫並びに特殊資料室に大量の未登録明治期教科書があることを知った¹⁾。それらの図書が早期に登録化されることを願って, 図書館の同意のもとに我々グループで目録化する作業を始めた。目録化作業に当っては事前に蔵書の調査分類整理が必要であった。蔵書の多くは旧群馬県師範学校, 群馬県女子師範学校から継承されたものであった。その中には特殊なものとして, 群馬県女子師範学校郷土研究室の蒐集本があった。調査を進める中で, 著者の一人である高橋はそれら蔵書の群馬大学資料としての意義を評価し, 同じく著者の一人である玉置は群馬県女子師範学校郷土研究室の蒐集本について, それらが収集された時期を考察した。図書館からの依頼のもとに両者は記事を執筆し, それらは館報に掲載された^{2) 3)}。群馬県女子師範学校郷土研究室の蒐集本からは, 我々はまた, 昭和初期の群馬県女子師範学校の様子を探る糸口を得た^{3) 4)}。また多くが生徒の使用済み教科書であったため, 群馬県における明治期教育の現場を知る手がかりともなっている^{5) 6)}。我々は平成 15 年 1 月, ホームページを開設した。現在, 数冊の図書の画像と我々の活動状況を公開している⁷⁾。図書の画像は近い将来に飛躍的に増加する見込みである。

上記群馬大学資料の総数はおよそ 3000 冊であるが, 本稿ではその中, 我々が目録化した理系和装本 276 冊を取り上げる。我々はそれらを物理, 化学, 博物, 生理, 総合科学・理科, 地文の科目に分類した。各科目中の冊数は 55, 58, 26, 44, 91, 2 冊である。以下, 2 節に目録化にあたっての方針・細則を述べ, 3 節に目録を掲載する。4 節で図書の由来ともなる初所蔵を示す蔵書印の由来について考察し, 5 節にまとめを述べる。

群馬大学資料についての考察を述べることを許していただいた埼玉医科大学医学基礎部門に感謝するとともに, この考察が人々の明治期教育への興味を呼び起こす契機となり, また研究者には一つの資料となれば, 我々が目録化に精進した意義があったと考えるものである。

2. 目録作製の方針と細則

図書の目録化作業は, 当初は図書館で, 一冊の図書情報を一定書式一枚の用紙に記載した。その用紙を持ち帰り, 情報をパソコンの表ソフトに入力した。作業が定常になってきてからは, 図書館で図書を傍らに置き, 初めから表ソフトに入力した。今回の目録は, 表に入力された多くの情報から基本的な情報を選択し, 見易く記載することを念頭に置いて作製した。次の I に目録作製の方針を, II に目録作製の細則を示す。

I 目録作製の方針

1. 1 冊 1 項目とする。
2. 書名・著者・出版社・出版年・頁・判・初所蔵記録を記す。その表記は以下 (ア) - (オ) をもって原則とする。
 - (ア) 書名は図書の表紙の題簽にあるものを採用する。
 - (イ) 書名・著者・出版社の漢字は用いられているものを再現する事を旨とする。
 - (ウ) 出版年は印刷されている和暦を西暦に直す。
 - (エ) 頁は本文のみの頁数とする。
 - (オ) 初所蔵記録は初所蔵印の印字をもって現すものとする。

II 目録作製の細則

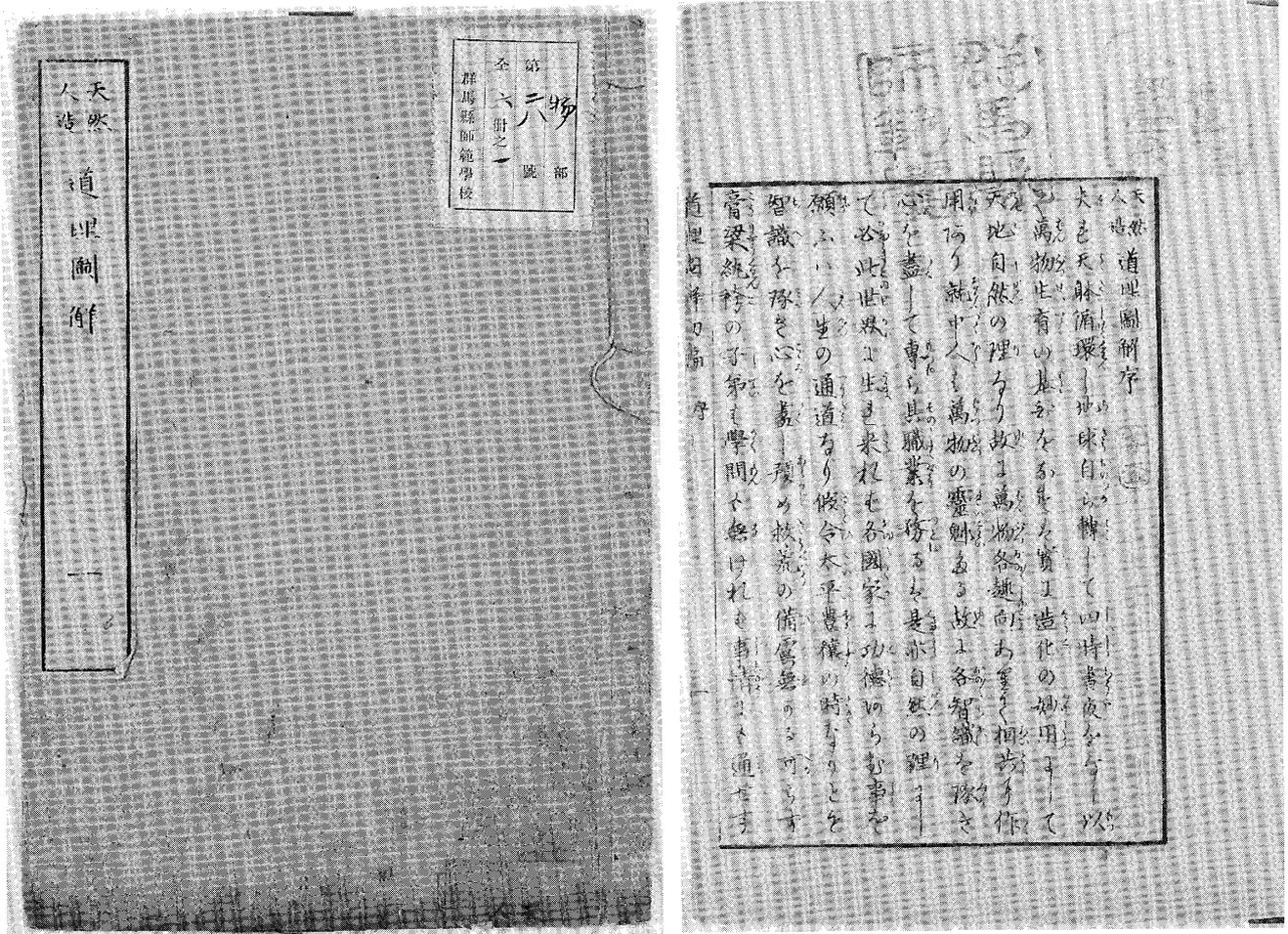
1. 著者には [] 中に, 著・原著・口授・撰・撰著・訓點・譯・鈔譯・同譯・合譯・譯述・譯纂・譯輯・譯補・纂譯・纂輯・纂著・編・編纂・編述・編輯・訂正・増補訂正・編輯改定・校・同校・重校・校正・閲・校閲・校訂・刪正・検閲などの別を記す。
2. 出版地は, (地名) と無印で出版社欄に示す。最も多い無印は東京であることを示す。(地名) は多い順に (大阪), (群馬), (上海), (岐阜), (埼玉), (栃木) である。中に (&大阪), (&群馬) と記したものは, 東京

と他地域の同時出版であると考えられるものを示す。

3. 頁は丁と無単位で示す。1袋とじの山に頁が打たれている場合、それが1丁である。1丁は西洋書の2頁に相当する。頁の無単位は、1袋とじの左右に頁が打ってあり、西洋書の頁の打ち方と同様になっているものである。
4. 本のサイズはA, B, Cと無印で示す。最も多い無印は半紙判(縦横22cm 15cm), A, B, Cはそれぞれ菊判(26cm 18cm), 袖珍判(18cm 12cm), 半紙判がわずか小さいもの(21cm 14cm)を示す。
5. 目録中、書名・著者・出版社・出版年を括弧で括ったものは、著者らの推定を示すものである。図書にそれらの情報が欠落している理由としては、破損による場合と、初めから記されていない場合とがある。後者は分冊で出版されている場合に、版元で初めから各冊には記さない傾向があったことによる。よって仮に単品で発見された場合は、記入された分冊を探さなければ、判明しないことになる。版が異なり、推定できる分冊もない場合は空欄で示す。

3. 群馬大学附属図書館所蔵理系明治期教科書一和装本一目録

群馬大学附属図書館所蔵の明治期教科書中、我々が目録化した理系和装本276冊の目録を科目に分けて表1から表6(PP.4~13)に示す。表は順番に1. 物理, 2. 化学, 3. 博物, 4. 生理, 5. 総合科学・理科, 6. 地文の科目を示している。それぞれの科目中では基本的に年代の古い順に配列する。参考までに、目録中の最初に掲載した図書『天然人造 道理圖解 一』の写真を図1に示す。目録中のほとんどの図書は図1(a)のような形式の表紙を持ち、また本文は図1(b)のような文字で書かれている。ただし、文字の大きさは図書により異なる。



(a) 天然人造 道理圖解 一 表紙

(b) 天然人造 道理圖解 一 本文の最初の頁

図1 目録中の最初の図書『天然人造 道理圖解 一』の(a)表紙と(b)本文の最初の頁を写す。

表1 目録1. 物理 (55冊)

No.	書名 (題簽)	著者
1	天然人造 道理圖解 一	田中大介 [纂輯]
2	天然人造 道理圖解 二	田中大介 [纂輯]
3	天然人造 道理圖解 三	田中大介 [纂輯]
4	電気論 全	中神保 [鈔譯]
5	官版 物理階梯 上	片山淳吉 [纂輯] 辻士革 [校]
6	官版 物理階梯 中	片山淳吉 [纂輯] 辻士革 [校]
7	官版 物理階梯 下	片山淳吉 [纂輯] 辻士革 [校]
8	(訓蒙 窮理圖解 卷の二)	福澤諭吉 [纂輯]
9	天然人造 道理圖解 二篇一	橋爪貫一 [纂輯] 山梨卓爾 [校正]
10	天然人造 道理圖解 二篇二	橋爪貫一 [纂輯] 山梨卓爾 [校正]
11	天然人造 道理圖解 二篇三	橋爪貫一 [纂輯]
12	物理日記 二篇 (一)	日耳曼國 リッテル氏 [口授]
13	物理日記 二篇 二	日耳曼國 リッテル氏 [口授]
14	物理日記 二篇 三	日耳曼國 リッテル氏 [口授]
15	宇田川準一譯 物理全志 一	宇田川準一 [譯] 市川盛三郎 [閱]
16	宇田川準一譯 物理全志 二	宇田川準一 [譯] 市川盛三郎 [閱]
17	宇田川準一譯 物理全志 三	宇田川準一 [譯] 市川盛三郎 [閱]
18	宇田川準一譯 物理全志 四	宇田川準一 [譯] 市川盛三郎 [閱]
19	宇田川準一譯 物理全志 五	宇田川準一 [譯] 市川盛三郎 [閱]
20	宇田川準一譯 物理全志 六	宇田川準一 [譯] 市川盛三郎 [閱]
21	宇田川準一譯 物理全志 七	宇田川準一 [譯] 市川盛三郎 [閱]
22	宇田川準一譯 物理全志 八	宇田川準一 [譯] 市川盛三郎 [閱]
23	宇田川準一譯 物理全志 九	宇田川準一 [譯] 市川盛三郎 [閱]
24	宇田川準一譯 物理全志 十	宇田川準一 [譯] 市川盛三郎 [閱]
25	改正増補 物理階梯 片山淳吉纂輯 上	片山淳吉 [編纂] 辻士革 [校] 榊原芳野 [重校]
26	(改正増補 物理階梯 片山淳吉纂輯 中)	片山淳吉 [纂輯] 榊原芳野再(校)
27	(改正増補 物理階梯 片山淳吉纂輯 上)	片山淳吉 [纂輯] 辻士革 [校] 榊原芳野 [重校]
28	改正増補 物理階梯 片山淳吉纂輯 中	片山淳吉 [纂輯] 榊原芳野 [再校]
29	(改正増補 物理階梯 片山淳吉纂輯 下)	片山淳吉 [纂輯] 辻士革 [校] 榊原芳野 [再校]
30	(高等物理新志) 一	平井深勳 [纂譯] 高須碌郎 [閱] 西探屬 [編纂]
31	高等物理新志 二	平井深勳 [纂譯] 高須碌郎 [閱] 西探屬 [編纂]
32	高等物理新志 四	平井深勳 [纂譯] 高須碌郎 [閱] 西探屬 [編纂]
33	(物理初階 下之卷)	宇田川準一 [編]
34	(物理初階 下之卷)	宇田川準一 [編]
35	小學物理書 志賀泰山譯纂 上	志賀泰山 [譯纂]
36	小學物理書 志賀泰山譯纂 中	志賀泰山 [譯纂]
37	小學物理書 志賀泰山譯纂 下	志賀泰山 [譯纂]
38	小學物理書 志賀泰山譯纂 上	志賀泰山 [譯纂]
39	小學物理書 志賀泰山譯纂 中	志賀泰山 [譯纂]
40	小學物理書 志賀泰山譯纂 下	志賀泰山 [譯纂]
41	小學校生徒用物理書 卷之上	後藤牧太 篠田利英 瀧澤菊太郎 柳生寧成 [著]
42	小學校生徒用物理書 卷之中	後藤牧太 篠田利英 瀧澤菊太郎 柳生寧成 [著]
43	小學校生徒用物理書 卷之下	後藤牧太 篠田利英 瀧澤菊太郎 柳生寧成 [著]
44	小學校生徒用物理書 卷之上	後藤牧太 篠田利英 瀧澤菊太郎 柳生寧成 [著]
45	小學校生徒用物理書 卷之中	後藤牧太 篠田利英 瀧澤菊太郎 柳生寧成 [著]
46	(小學校生徒用物理書 卷之下)	後藤牧太 篠田利英 瀧澤菊太郎 柳生寧成 [著]
47	小學校生徒用物理書 卷之中	後藤牧太 篠田利英 瀧澤菊太郎 柳生寧成 [著]
48	小學校生徒用物理書 卷之中	後藤牧太 篠田利英 瀧澤菊太郎 柳生寧成 [著]
49	簡易器械 理科學試驗法 後藤牧太 三宅米吉 著	後藤牧太 三宅米吉 [著]
50	簡易器械 理科學試驗法 後藤牧太 三宅米吉 著	後藤牧太 三宅米吉 [著]
51	新撰 小學物理書 玉名程三譯 上	玉名程三 [譯補]
52	新撰 小學物理書 玉名程三譯 中	玉名程三 [譯補]
53	新撰 小學物理書 玉名程三譯 下	玉名程三 [譯補]
54	物理初歩 平賀義美著 理科用 上篇	平賀義美 [著] 杉浦重剛 [校閱]
55	物理初歩 平賀義美著 理科用 下篇	平賀義美 [著] 杉浦重剛 [校閱]

出版社(者)	出版年	頁判	初所蔵記録
誠之堂藏板(橋爪氏藏板)	1870	23丁	十七番中學本部學校
(誠之堂藏板 橋爪氏藏板)	1870	23丁	群馬縣師範養
(誠之堂藏板) 橋爪氏藏板 近江屋岩次郎 椀屋喜兵衛	1870	23丁	群馬縣師範養
寶集堂 大和屋喜兵衛發兌	1871	31丁B	熊谷縣暢發校
文部省 岐阜県翻刻 (岐阜)	1872	52丁	郷土教育
文部省 岐阜県翻刻 (岐阜)	1872	63丁	郷土教育
文部省 岐阜県翻刻 (岐阜)	1872	64丁	郷土教育
(橋爪貫一藏版) 誠之堂發兌	(1873)	22丁B	熊谷縣暢發校
(橋爪貫一藏版) 誠之堂發兌	1873	24丁	熊谷縣暢發校
(橋爪貫一藏版) 誠之堂發兌	1873	21丁	熊谷縣暢發校
橋爪貫一藏版(誠之堂發兌)	1873	28丁	熊谷縣暢發校
文部省(山中市兵衛 稲田佐兵衛 出雲寺萬次郎 發兌)	1874	67丁	群馬縣衛生所
文部省(山中市兵衛 稲田佐兵衛 出雲寺萬次郎 發兌)	1874	63丁	群馬縣衛生所
文部省 山中市兵衛 稲田佐兵衛 出雲寺萬次郎 發兌	1874	66丁	群馬縣衛生所
煙雨樓藏(諸葛信澄出版)	1876	38丁	熊谷縣暢發校
(煙雨樓藏 諸葛信澄出版)	(1876)	46丁	熊谷縣暢發校
(煙雨樓藏 諸葛信澄出版)	(1876)	46丁	群馬縣師範養
(煙雨樓藏 諸葛信澄出版)	(1876)	38丁	群馬縣師範養
(煙雨樓藏 諸葛信澄出版)	(1876)	41丁	群馬縣師範養
(煙雨樓藏 諸葛信澄出版)	(1876)	52丁	群馬縣師範養
(煙雨樓藏 諸葛信澄出版)	1876	52丁	群馬縣師範養
(煙雨樓藏 諸葛信澄出版)	(1876)	54丁	群馬縣師範養
(煙雨樓藏 諸葛信澄出版)	(1876)	25丁	群馬縣師範養
(煙雨樓藏) 諸葛信澄出版	1876	64丁	群馬縣師範養
文部省	1876	43丁	郷土教育
(文部省)	(1876)	42丁	郷土教育
文部省(原亮三郎翻刻)	(1880)	45丁	郷土教育
(文部省 原亮三郎翻刻)	(1880)	41丁	郷土教育
(文部省) 原亮三郎翻刻	1880	42丁	郷土教育
清豐樓藏梓(西探屬出版)(大阪)	1880	35丁	群馬縣師範養
(清豐樓藏梓) 西探屬出版(大阪)	1880	59丁	群馬縣師範養
(清豐樓藏梓) 西探屬出版(大阪)	1880	48丁	群馬縣師範養
福田仙藏出版 牧野善兵衛 原亮三郎 發兌	1881	21丁	郷土教育
福田仙藏出版 牧野善兵衛 原亮三郎 發兌	1881	21丁	郷土教育
二書堂發兌 原亮三郎 山中孝之助 出版	1883	52丁	群馬縣師範養
(二書堂發兌 原亮三郎 山中孝之助 出版)	(1883)	78丁	群馬縣師範養
二書堂發兌 原亮三郎 山中孝之助 出版	1883	62丁	群馬縣師範養
二書堂發兌 原亮三郎 山中孝之助 出版	1883	52丁	群馬縣師範學校附属小学校
二書堂發兌 原亮三郎 山中孝之助 出版	1883	78丁	群馬縣師範學校附属小学校
二書堂發兌 原亮三郎 山中孝之助 出版	1883	62丁	群馬縣師範學校附属小学校
後藤牧太著者出版 普及舎發兌	1885	66	群馬縣師範養
後藤牧太著者出版 普及舎發兌	1885	52	群馬縣師範養
後藤牧太著者出版 普及舎發兌	1885	44	群馬縣師範養
後藤牧太著者出版 普及舎發兌	1885	66	郷土教育
後藤牧太著者出版 普及舎發兌	1885	52	郷土教育
後藤牧太著者出版 普及舎發兌	1885	44	郷土教育
後藤牧太著者出版 普及舎發兌	1885	52	郷土教育
後藤牧太著者出版 普及舎發兌	1885	52	郷土教育
辻敬之出版 普及舎發兌	1885	96	群馬縣師範養
辻敬之出版 普及舎發兌	1885	18	群馬縣師範養
北澤藏梓 玉名程三譯述兼出版 北澤伊八出版	1885	54丁	群馬縣師範養
北澤藏梓 玉名程三譯述兼出版 北澤伊八出版	1885	53丁	群馬縣師範養
北澤藏梓 玉名程三譯述兼出版 北澤伊八出版	1885	43丁	群馬縣師範養
辻敬之出版 普及舎發兌	1887	47丁	群馬縣師範養
辻敬之出版 普及舎發兌	1887	31丁	群馬縣師範養

表2 目録2. 化学 (58 冊)

No.	書名 (題簽)	著者
1	化學簡要 三	米國 達毘篤沕兒斯氏 [原著] 土岐頼徳 [譯述]
2	化學簡要 四	米國 達毘篤沕兒斯氏 [原著] 土岐頼徳 [譯述]
3	化學簡要 五	米國 達毘篤沕兒斯氏 [原著] 土岐頼徳 [譯述]
4	化學簡要 六	米國 達毘篤沕兒斯氏 [原著] 土岐頼徳 [譯述]
5	化學簡要 七	米國 達毘篤沕兒斯氏 [原著] 土岐頼徳 [譯述]
6	化學簡要 八	米國 達毘篤沕兒斯氏 [原著] 土岐頼徳 [譯述]
7	化學簡要 九	米國 達毘篤沕兒斯氏 [原著] 土岐頼徳 [譯述]
8	化學簡要 十	米國 達毘篤沕兒斯氏 [原著] 土岐頼徳 [譯述]
9	化學簡要 土岐頼徳譯 十一	米國 達毘篤沕兒斯氏 [原著] 土岐頼徳 [譯述]
10	化學簡要 土岐頼徳譯 十二	米國 達毘篤沕兒斯氏 [原著] 土岐頼徳 [譯述]
11	增訂 化學訓蒙 一	石黒忠憲 [譯纂]
12	增訂 化學訓蒙 二	石黒忠憲 [譯纂]
13	增訂 化學訓蒙 四	石黒忠憲 [譯纂]
14	增訂 化學訓蒙 五	石黒忠憲 [譯纂]
15	增訂 化學訓蒙 六	石黒忠憲 [譯纂]
16	增訂 化學訓蒙 七	石黒忠憲 [譯纂]
17	增訂 化學訓蒙 八	石黒忠憲 [譯纂]
18	百科全書 百工應用化學篇 上	牧山耕平 [譯] 川本清一 [校]
19	百科全書 百工應用化學篇 上	牧山耕平 [譯] 川本清一 [校]
20	百科全書 百工應用化學篇 下	牧山耕平 [譯] 川本清一 [校]
21	百科全書 化學篇 上	小林義直 [譯] 清水世信 [校]
22	百科全書 化學篇 下	小林義直 [譯] 清水世信 [校]
23	新式化學 太田雄寧譯纂 一	太田雄寧 [譯纂]
24	新式化學 太田雄寧譯纂 二	太田雄寧 [譯纂]
25	新式化學 太田雄寧譯纂 三	太田雄寧 [譯纂]
26	新式化學 太田雄寧譯纂 四	太田雄寧 [譯纂]
27	新式化學 太田雄寧譯纂 五	太田雄寧 [譯纂]
28	新式化學 太田雄寧譯纂 六	太田雄寧 [譯纂]
29	新式化學 太田雄寧譯纂 七	太田雄寧 [譯纂]
30	小學化學書 一	ロスコウ氏 [撰] 市川盛三郎 [譯]
31	小學化學書 二	ロスコウ氏 [撰] 市川盛三郎 [譯]
32	小學化學書 三	ロスコウ氏 [撰] 市川盛三郎 [譯]
33	小學化學書 一	ロスコウ氏 [撰] 市川盛三郎 [譯]
34	小學化學書 二	ロスコウ氏 [撰] 市川盛三郎 [譯]
35	小學化學書 一	ロスコウ氏 [撰] 市川盛三郎 [譯]
36	小學化學書 二	ロスコウ氏 [撰] 市川盛三郎 [譯]
37	小學化學書 一	ロスコウ氏 [撰] 市川盛三郎 [譯]
38	化學分析法 小山健三譯纂 一	小山健三 [譯纂]
39	小山健三譯纂 化學分析法 二	小山健三 [譯纂]
40	訓蒙化學 中川謙二郎編述 上卷	中川謙二郎 [譯述] 内田嘉一 [刪正]
41	訓蒙化學 中川謙二郎編述 下卷 附録	中川謙二郎 [譯述] 内田嘉一 [刪正]
42	小學化學書 一	ロスコウ氏 [撰] 市川盛三郎 [譯]
43	小學化學書 二	ロスコウ氏 [撰] 市川盛三郎 [譯]
44	小學化學書 三	ロスコウ氏 [撰] 市川盛三郎 [譯]
45	小學化學初歩 平松知貞著 卷二	平松知貞 [著]
46	中學化學書 磯野徳三郎編述 第一編卷之上	磯野徳三郎 [編述]
47	中學化學書 磯野徳三郎編述 第一編卷之中	磯野徳三郎 [編述]
48	中學化學書 磯野徳三郎編述 第一編卷之下	磯野徳三郎 [編述]
49	中學化學書 磯野徳三郎編述 第二編卷之上	磯野徳三郎 [編述]
50	中學化學書 磯野徳三郎編述 第二編卷之中	磯野徳三郎 [編述]
51	中學化學書 磯野徳三郎編述 第二編卷之下	磯野徳三郎 [編述]
52	中學化學書 磯野徳三郎編述 第三編卷之上	磯野徳三郎 [編述]
53	中學化學書 磯野徳三郎編述 第三編卷之中	磯野徳三郎 [編述]
54	中學化學書 磯野徳三郎編述 第三編卷之下	磯野徳三郎 [編述]
55	小學化學書 一卷	ロスコウ氏 [撰] 市川盛三郎 [譯]
56	小學化學書 三卷	ロスコウ氏 [撰] 市川盛三郎 [譯]
57	(小學化學書 卷之一)	ロスコウ氏 [撰] 市川盛三郎 [譯]
58	(小學化學書 卷之二)	ロスコウ氏 [撰] 市川盛三郎 [譯]

出版社(者)	出版年	頁	判	初所蔵記録
(青松學舎藏板 嶋村利助 鈴木喜右衛門)	1873	28	丁	熊谷縣暢發校
青松學舎藏板 嶋村利助 鈴木喜右衛門	(1873)	40	丁	熊谷縣暢發校
(青松學舎藏板 嶋村利助 鈴木喜右衛門)	(1873)	32	丁	熊谷縣暢發校
青松學舎藏板 嶋村利助 (鈴木喜右衛門)	(1873)	39	丁	熊谷縣暢發校
(青松學舎藏板 嶋村利助 鈴木喜右衛門)	(1873)	33	丁	熊谷縣暢發校
(青松學舎藏板 嶋村利助 鈴木喜右衛門)	(1873)	38	丁	熊谷縣暢發校
(青松學舎藏板 嶋村利助 鈴木喜右衛門)	(1873)	29	丁	熊谷縣暢發校
(青松學舎藏板 嶋村利助 鈴木喜右衛門)	(1873)	28	丁	熊谷縣暢發校
(青松學舎藏板 嶋村利助 鈴木喜右衛門)	(1873)	37	丁	熊谷縣暢發校
(青松學舎藏板 嶋村利助 鈴木喜右衛門)	(1873)	45	丁	熊谷縣暢發校
讀我書屋藏 英蘭堂 嶋村利助	(1873)	49	丁 B	熊谷縣暢發校
讀我書屋藏 英蘭堂 嶋村利助	(1873)	35	丁 B	熊谷縣暢發校
讀我書屋藏 英蘭堂 嶋村利助	(1873)	40	丁 B	熊谷縣暢發校
讀我書屋藏 英蘭堂 嶋村利助	(1873)	40	丁 B	熊谷縣暢發校
讀我書屋藏 英蘭堂 嶋村利助	(1873)	28	丁 B	熊谷縣暢發校
讀我書屋藏 英蘭堂 嶋村利助	(1873)	45	丁 B	熊谷縣暢發校
讀我書屋藏 英蘭堂 嶋村利助	1873	39	丁 B	熊谷縣暢發校
文部省	1873	44	丁	群馬縣師範養
文部省	1873	44	丁	群馬縣師範養
(文部省)	1873	48	丁	群馬縣師範養
文部省	1875	55	丁	群馬縣師範養
(文部省)	1875	39	丁	群馬縣師範養
(太田雄寧 英蘭堂 嶋村利助)	1877	37	丁	群馬縣師範養
太田雄寧譯者兼出版人 英蘭堂 嶋村利助	(1877)	54	丁	群馬縣師範養
太田雄寧 英蘭堂 嶋村利助	(1877)	30	丁	群馬縣師範養
太田雄寧 英蘭堂 嶋村利助	(1877)	55	丁	群馬縣師範養
太田雄寧譯者兼出版人 英蘭堂 嶋村利助	(1877)	36	丁	群馬縣師範養
太田雄寧 英蘭堂 嶋村利助	(1877)	39	丁	群馬縣師範養
太田雄寧 英蘭堂 嶋村利助	(1877)	39	丁	群馬縣師範養
(水野慶治郎翻刻出版) 文部省	1877	35	丁	群馬縣師範養
(水野慶治郎翻刻出版) 文部省	1877	47	丁	群馬縣師範養
水野慶治郎翻刻出版 文部省	1877	45	丁	群馬縣師範養
(水野慶治郎翻刻出版) 文部省	(1877)	35	丁	群馬縣師範養
(水野慶治郎翻刻出版) 文部省	(1877)	47	丁	群馬縣師範養
文部省	(1877)	35	丁	郷土教育
文部省	(1877)	47	丁	郷土教育
(水野慶治郎翻刻出版) 文部省	(1877)	35	丁	郷土教育
群馬縣豎學校藏版 發兌博文堂支店(群馬)	1877	42	丁	群馬縣豎學校
群馬縣豎學校藏版 發兌博文堂支店(群馬)	1880	50	丁	群馬縣師範養
關微館藏梓(中川榮吉出版 弘文社 丸屋善七 發兌)	1880	58	丁	群馬縣女學校
關微館藏梓 中川榮吉出版 弘文社 丸屋善七 發兌	1880	54	丁	群馬縣女學校
(山中市兵衛翻刻) 文部省	(1881)	28	丁	郷土教育
(山中市兵衛翻刻) 文部省	(1881)	28	丁	郷土教育
山中市兵衛翻刻 文部省	1881	34	丁	郷土教育
報告社 大野堯運	1881	36	丁	郷土教育
竹雲書屋藏版(鹽島一介出版)	1883	43	丁	群馬縣師範養
(竹雲書屋藏版) 鹽島一介出版	(1883)	54	丁	群馬縣師範養
(竹雲書屋藏版) 鹽島一介出版	1883	26	丁	群馬縣師範養
竹雲書屋藏版(鹽島一介出版)	1883	66	丁	群馬縣師範養
(竹雲書屋藏版) 鹽島一介出版	(1883)	65	丁	群馬縣師範養
(竹雲書屋藏版) 鹽島一介出版	1883	34	丁	群馬縣師範養
竹雲書屋藏版(鹽島一介出版)	1885	38	丁	群馬縣師範養
(竹雲書屋藏版) 鹽島一介出版	(1885)	58	丁	群馬縣師範養
(竹雲書屋藏版) 鹽島一介出版	1885	67	丁	群馬縣師範養
(榊原友吉出版 發賣長島為一郎) 文部省	(1884)	29	丁	郷土教育
榊原友吉出版 發賣長島為一郎 文部省	1884	38	丁	郷土教育
文部省	1891	35	丁	郷土教育
文部省	(1891)	46	丁	郷土教育

表3 目録3. 博物 (26冊)

No.	書名 (題簽)	著者
1	(博物教授本動物之部 二)	市川來次郎 [編輯]
2	具氏博物學 須川賢久譯 一	須川賢久 [譯] 田中芳男 [校閲] 榊原芳野 [校] 文部省
3	(具氏博物學 九)	須川賢久 [譯] 田中芳男 [校閲] 榊原芳野 [校] 文部省
4	(小学教授本博物之部 博物圖 第一)	三瀬貞幹 [編] 内田赫一郎 [校]
5	動植物化學 小山健三纂譯 完	小山健三 [纂譯]
6	永田方正編輯 由氏植學書一	永田方正 [編輯]
7	永田方正編輯 由氏植學書二	永田方正 [編輯]
8	永田方正編輯 由氏植學書三	永田方正 [編輯]
9	白野己巳郎譯述 金石小解 全	白野己巳郎 [譯述] 瀬戸正義 [校正]
10	礦物小學 松本榮三郎纂譯 全	杉浦重剛 手島春治 [校閲] 松本榮三郎 [纂譯]
11	植物小學 松村任三纂譯 伊藤圭介校閲 卷上	松村任三 [纂譯] 伊藤圭介 [校閲]
12	植物小學 松村任三纂譯 伊藤圭介校閲 卷下	松村任三 [纂譯] 伊藤圭介 [校閲]
13	小學 植物教授書 堤辰二編輯 上	堤辰二 [編輯]
14	小學 植物教授書 堤辰二編輯 下	堤辰二 [編輯]
15	(小學 植物教授書 堤辰二編輯 上)	堤辰二 [編輯]
16	(小學 植物教授書 堤辰二編輯 下)	堤辰二 [編輯]
17	小學 動物教授書 堤辰二編輯 上	堤辰二 [編輯]
18	小學 動物教授書 堤辰二編輯 下	堤辰二 [編輯]
19	小學 動物教授書 堤辰二編輯 上	堤辰二 [編輯]
20	(小學 動物教授書 堤辰二編輯 上)	堤辰二 [編輯]
21	小學 礦物教授書 堤辰二編輯 全	堤辰二 [編輯]
22	小學 礦物教授書 堤辰二編輯 全	堤辰二 [編輯]
23	通常 動物小誌 全	宮崎柳條 [編]
24	通常 金石小誌 全	宮崎柳條 [編]
25	金石小誌 西松二郎閱 白井毅編 全	西松二郎 [閱] 白井毅 [編]
26	植物小誌 岩川友太郎閱 白井毅編 全	岩川友太郎 [閱] 白井毅 [編]

表4 目録4. 生理 (44冊)

No.	書名 (題簽)	著者
1	虞列伊氏解剖訓蒙圖 坤	虞列伊氏
2	衛生新論 上	緒方惟準 [纂輯]
3	衛生新論 下	緒方惟準 [纂輯]
4	解體生理圖説 一	英國 維廉杜與寧兒 [原著] 佐々木東洋 [譯述] 島村鼎 [檢閲]
5	解體生理圖説 三	英國 維廉杜與寧兒 [原著] 佐々木東洋 [譯述] 島村鼎 [檢閲]
6	解體生理圖説 四	英國 維廉杜與寧兒 [原著] 佐々木東洋 [譯述] 島村鼎 [檢閲]
7	初學人身窮理 松山棟庵 森下岩楠 合譯 上	松山棟庵 森下岩楠 [合譯]
8	初學人身窮理 松山棟庵 森下岩楠 合譯 下	松山棟庵 森下岩楠 [合譯]
9	初學人身窮理 松山棟庵 森下岩楠 合譯 上	松山棟庵 森下岩楠 [合譯]
10	生理訓蒙 上	独逸國 惠美麗氏 [著] 菅野虎太 [譯]
11	生理訓蒙 中	独逸國 惠美麗氏 [著] 菅野虎太 [譯]
12	生理訓蒙 下	独逸國 惠美麗氏 [著] 菅野虎太 [譯]
13	人身 生理解剖 志賀雷山譯 上	志賀雷山 [譯]
14	人身 生理解剖 志賀雷山譯 下	志賀雷山 [譯]
15	達兒敦氏 學校用生理書 今井金吾譯述 二	島村鼎 [檢閲] 横山詔 [校正] 今井金吾 [譯述]
16	達兒敦氏 學校用生理書 今井金吾譯述 三	島村鼎 [檢閲] 横山詔 [校正] 今井金吾 [譯述]
17	達兒敦氏 學校用生理書 今井金吾譯述 四	島村鼎 [檢閲] 横山詔 [校正] 今井金吾 [譯述]
18	達兒敦氏 學校用生理書 今井金吾譯述 五	島村鼎 [檢閲] 横山詔 [校正] 今井金吾 [譯述]
19	高橋正純訂正 松尾耕三纂著 生理問答 上	高橋正純 [訂正] 松尾耕三 [纂著]
20	高橋正純訂正 松尾耕三纂著 生理問答 中	高橋正純 [訂正] 松尾耕三 [纂著]
21	高橋正純訂正 松尾耕三纂著 生理問答 下	高橋正純 [訂正] 松尾耕三 [纂著]
22	達爾頓氏生理書 一	物部誠一郎 [譯]
23	達爾頓氏生理書 二	高橋正純 [閱] 藻奇隆次 [譯] 物部誠一郎 [校]
24	達爾頓氏生理書 三	物部誠一郎 [譯]
25	達爾頓氏生理書 四	物部誠一郎 [譯]
26	達爾頓氏生理書 五	物部誠一郎 [譯]
27	達爾頓氏生理書 六	物部誠一郎 [譯]
28	達爾頓氏生理書 七	物部誠一郎 [譯]
29	小學校用 養生淺説 小林義直譯述 上	米國マルチンタル [著] 小林義直 [譯]
30	小學校用 養生淺説 小林義直譯述 下	米國マルチンタル [著] 小林義直 [譯]

出版社(者)	出版年	頁 判	初所蔵記録
山中市兵衛藏版 山中市兵衛出版	1877	43 丁	郷土教育
中村熊次郎 山中市兵衛 翻刻出版	1877	71 丁	郷土教育
中村熊次郎翻刻出版	1878	53 丁	群馬縣師範費
原亮三出版	1878	47 丁	郷土教育
小山健三纂譯兼出版(群馬)	1878	19 丁	群馬縣師範費
浪華華井氏藏(佐々木吉良出版)(大阪)	1879	41 丁	群馬縣師範費
(浪華華井氏藏 佐々木吉良出版)(大阪)	(1879)	43 丁	群馬縣師範費
(浪華華井氏藏) 佐々木吉良出版 (大阪)	1879	75 丁	群馬縣師範費
擴技費藏梓 白塾己巳郎鈔訳兼出版	1879	56 丁	群馬縣師範費
東京錦森閣藏 石川治兵衛出版	1881	35 丁	群馬縣師範費
東京錦森閣藏(石川治兵衛出版)	1881	34 丁	群馬縣師範費
(東京錦森閣藏) 石川治兵衛出版	1881	34 丁	群馬縣師範費
煥乎堂梓(高橋曙出版)(&群馬)	1882	25 丁	郷土教育
(煥乎堂梓) 高橋曙出版 (&群馬)	1882	30 丁	郷土教育
煥乎堂梓(高橋曙出版)(&群馬)	1882	25 丁	郷土教育
(煥乎堂梓) 高橋曙出版 (&群馬)	1882	30 丁	郷土教育
修靜館藏梓 内田正義出版	1882	42 丁	郷土教育
煥乎堂梓 高橋曙出版 (&群馬)	1882	55 丁	郷土教育
煥乎堂梓 高橋曙出版 (&群馬)	1882	42 丁	郷土教育
(煥乎堂梓) 高橋曙出版 (&群馬)	1882	43 丁	郷土教育
煥乎堂梓 高橋曙出版 (&群馬)	1883	17 丁	郷土教育
煥乎堂梓 高橋曙出版 (&群馬)	1883	17 丁	郷土教育
牧野氏藏版 牧野善兵衛出版	1883	48 丁	群馬縣師範費
牧野氏藏版 牧野善兵衛出版	1884	38 丁	群馬縣師範費
普及舎 辻敬之出版	1884	41 丁	群馬縣尋常師範学校附属小学校
普及舎 辻敬之出版	1884	32 丁	群馬縣尋常師範学校附属小学校

出版社(者)	出版年	頁 判	初所蔵記録
啓蒙義舎藏版 文海堂製本(大阪)	1872	27 丁	群馬縣師範費
適々齋藏梓	1872	32 丁	熊谷縣暢發校
(適々齋藏梓)	(1872)	24 丁	熊谷縣暢發校
杏雲堂藏梓 須原屋伊八 島村屋利助 發兌	1873	34 丁	熊谷縣暢發校
杏雲堂藏梓 須原屋伊八 島村屋利助 發兌	(1873)	26 丁	熊谷縣暢發校
杏雲堂藏梓	(1873)	21 丁	熊谷縣暢發校
松山氏版	1876	55 丁	郷土教育
松山氏版	1876	40 丁	郷土教育
松山氏版	1878	55 丁	郷土教育
(眞部武助 松邨九兵衛出版)(大阪)	1876	30 丁	群馬縣師範費
(眞部武助 松邨九兵衛出版)(大阪)	(1876)	30 丁	群馬縣師範費
眞部武助 松邨九兵衛出版 (大阪)	1876	32 丁	群馬縣師範費
集英堂藏板(山中八郎出版)(栃木)	1877	49 丁	群馬縣第五課
集英堂藏板 山中八郎出版 (栃木)	1877	58 丁	群馬縣第五課
(丸家藏版 丸家善七出版)	(1877)	61 丁	群馬縣師範費
(丸家藏版) 丸家善七出版	1877	52 丁	群馬縣師範費
丸家藏版(丸家善七出版)	1877	63 丁	群馬縣師範費
(丸家藏版 丸家善七出版)	(1877)	57 丁	群馬縣師範費
積玉圃藏(大阪)	1878	22 丁	群馬縣編纂課
(積玉圃藏)(大阪)	(1878)	23 丁	群馬縣編纂課
(積玉圃藏)(大阪)	(1878)	28 丁	群馬縣編纂課
文海堂發行 (大阪)	1879	47 丁	群馬縣師範費
文海堂發行 (大阪)	(1879)	32 丁	群馬縣醫學校
松邨九兵衛出版(文海堂發行)(大阪)	1879	71 丁	群馬縣師範費
(文海堂發行) (大阪)	(1878)	58 丁	群馬縣師範費
松邨九兵衛出版(文海堂發行)(大阪)	1878	50 丁	群馬縣師範費
文海堂發行 (大阪)	(1878)	66 丁	群馬縣師範費
松邨九兵衛出版(文海堂發行)(大阪)	1878	48 丁	群馬縣師範費
蘆灣漁舎梓 小林義直翻譯出版	1879	42 丁	群馬縣女學校
蘆灣漁舎梓 小林義直翻譯出版	1879	42 丁	群馬縣女學校

No.	書名 (題簽)	著者
31	松山棟庵編纂 初學人身窮理後編 上	松山棟庵 [編纂]
32	松山棟庵編纂 初學人身窮理後編 中	松山棟庵 [編纂]
33	松山棟庵編纂 初學人身窮理後編 下	松山棟庵 [編纂]
34	增補訂正 初學人身窮理 松山棟庵增補訂正 上	松山棟庵 [增補訂正]
35	(增補訂正 初學人身窮理 松山棟庵增補訂正 上)	松山棟庵 [增補訂正]
36	(增補訂正 初學人身窮理 松山棟庵增補訂正 下)	松山棟庵 [纂述]
37	增補訂正 初學人身窮理 松山棟庵增補訂正 下	松山棟庵 [纂述]
38	增補訂正 初學人身窮理 松山棟庵增補訂正 上	松山棟庵 [增補訂正]
39	增補訂正 初學人身窮理 松山棟庵增補訂正 下	松山棟庵 [纂述]
40	坪井為春編纂 初學生理書 乾	坪井為春 [編]
41	坪井為春編纂 初學生理書 坤	坪井為春 [編]
42	小學 人身窮理初歩 篠田正作纂輯 上	篠田正作 [纂輯] 飯田信逸 [校閱]
43	小學 人身窮理初歩 篠田正作纂輯 中	篠田正作 [纂輯] 飯田信逸 [校閱]
44	小學 人身窮理初歩 篠田正作纂輯 下	篠田正作 [纂輯] 飯田信逸 [校閱]

表5 目錄5. 総合科学・理科 (91冊)

No.	書名 (題簽)	著者
1	格物入門 水學 一	美国 丁睦良 [撰著] 皇國 本山漸吉 [訓點]
2	格物入門 氣學 二	美国 丁睦良 [撰著] 皇國 本山漸吉 [訓點]
3	格物入門 火學 三	美国 丁睦良 [撰著] 皇國 本山漸吉 [訓點]
4	格物入門 電學 四	美国 丁睦良 [撰著] 皇國 本山漸吉 [訓點]
5	格物入門 力學 五	美国 丁睦良 [撰著] 皇國 本山漸吉 [訓點]
6	格物入門 化學 六	美国 丁睦良 [撰著] 皇國 本山漸吉 [訓點]
7	格物入門 算學 七	美国 丁睦良 [撰著] 皇國 本山漸吉 [訓點]
8	西洋 百工新書 前編 完	西宮柳條 [纂輯]
9	西洋 百工新書 後編 完	宮崎柳條 [纂輯]
10	西洋 百工新書 外編 一	宮崎柳條 [纂輯]
11	西洋 百工新書 外編 二	(宮崎柳條 [纂輯])
12	百科全書 醫學篇 上	坪井為春 [譯] 清水世信 [校]
13	百科全書 醫學篇 下	坪井為春 [譯] 清水世信 [校]
14	百科全書 養生篇 下	錦織精之進 [譯] 清水世信 [校]
15	百科全書 植物生理學 上	片山淳吉 中村寛栗 [同譯] 清水世信 [校]
16	百科全書 植物生理學 下	片山淳吉 中村寛栗 [同譯] 清水世信 [校]
17	百科全書 動静水學 上	松川脩 [譯] 清水世信 内村耿之介 [同校]
18	百科全書 動静水學 下	松川脩 [譯] 清水世信 内村耿之介 [同校]
19	中川謙二郎譯補 理科讀本 第一	中川謙二郎 [譯補]
20	中川謙二郎譯補 理科讀本 第二	中川謙二郎 [譯補]
21	中川謙二郎譯補 理科讀本 第三	中川謙二郎 [譯補]
22	新撰理科書 訂正一 上	高島勝次郎 [編纂]
23	新撰理科書 訂正一 下	高島勝次郎 [編纂]
24	明治理科書 一下	高島勝次郎 [著] 文学社 [編脩改訂]
25	小學理科新書 甲種 卷之一	學海指針社 [編脩]
26	小學理科新書 甲種 卷之二	學海指針社 [編脩]
27	小學理科新書 甲種 卷之三	學海指針社 [編脩]
28	小學理科新書 甲種 卷之四	學海指針社 [編脩]
29	小學理科新書 甲種教師用 卷之一	學海指針社 [編脩]
30	小學理科新書 甲種教師用 卷之二	學海指針社 [編脩]
31	小學理科新書 甲種教師用 卷之三	學海指針社 [編脩]
32	小學理科新書 甲種教師用 卷之四	學海指針社 [編脩]
33	小學理科新書 甲種教師用 卷之一	學海指針社 [編脩]
34	小學理科新書 甲種教師用 卷之二	學海指針社 [編脩]
35	小學理科新書 甲種教師用 卷之三	學海指針社 [編脩]
36	小學理科新書 甲種教師用 卷之四	學海指針社 [編脩]
37	小學理科新書 甲種 卷之一	學海指針社 [編脩]
38	小學理科新書 甲種 卷之二	學海指針社 [編脩]
39	小學理科新書 甲種 卷之三	學海指針社 [編脩]
40	小學理科新書 甲種 卷之四	學海指針社 [編脩]
41	小學理科新書 甲種 卷之一	學海指針社 [編脩]

出版社(者)	出版年	頁判	初所蔵記録
棲霞堂蔵	1880	51丁	群馬縣師範費
(棲霞堂蔵)	(1880)	46丁	群馬縣師範費
(棲霞堂蔵) 松山棟庵出版	1880	48丁	群馬縣師範費
		44丁	郷土教育
棲霞堂蔵	(1882)	44丁	郷土教育
(棲霞堂蔵) 松山棟庵出版	(1882)	38丁	郷土教育
(棲霞堂蔵) 松山棟庵出版	1882	39丁	郷土教育
棲霞堂蔵	(1882)	44丁	群馬縣師範費
(棲霞堂蔵) 松山棟庵出版	1882	39丁	群馬縣師範費
埼玉縣蔵版 盛化堂 長島為一郎製本(埼玉)	(1883)	52丁	群馬縣師範費
埼玉縣蔵版 盛化堂 長島為一郎製本(埼玉)	1883	49丁	群馬縣師範費
岡島寶玉堂蔵 岡島眞七出版(大阪)	1885	27丁	群馬縣師範費
(岡島寶玉堂蔵) 岡島眞七出版(大阪)	1885	35丁	群馬縣師範費
(岡島寶玉堂蔵) 岡島眞七出版(大阪)	1885	37丁	群馬縣師範費

出版社(者)	出版年	頁判	初所蔵記録
明親館蔵版(菊間學校蔵版 鷹金屋清吉發行)	1869	32丁A	十七番中學本部學校
(明親館蔵版 菊間學校蔵版 鷹金屋清吉發行)	(1869)	38丁A	十七番中學本部學校
(明親館蔵版 菊間學校蔵版 鷹金屋清吉發行)	(1869)	56丁A	十七番中學本部學校
(明親館蔵版 菊間學校蔵版 鷹金屋清吉發行)	(1869)	58丁A	十七番中學本部學校
(明親館蔵版 菊間學校蔵版 鷹金屋清吉發行)	(1869)	60丁A	十七番中學本部學校
(明親館蔵版 菊間學校蔵版 鷹金屋清吉發行)	(1869)	84丁A	十七番中學本部學校
(明親館蔵版) 菊間學校蔵版 鷹金屋清吉發行	(1869)	76丁A	十七番中學本部學校
松壽閣 清風閣 藏梓 清風閣和泉屋善兵衛	1871	46丁	熊谷縣暢發校
松壽閣 清風閣 藏梓 清風閣和泉屋善兵衛	1872	49丁	熊谷縣暢發校
松壽閣 清風閣 藏梓	1873	31丁	熊谷縣暢發校
(松壽閣 清風閣 藏梓)	(1873)	37丁	熊谷縣暢發校
文部省	1874	31丁	熊谷縣暢發校
文部省	(1874)	41丁	熊谷縣暢發校
文部省		45丁	十七番中學本部學校
文部省	1874	45丁	熊谷縣暢發校
文部省	(1874)	35丁	熊谷縣暢發校
文部省	1875	51丁	熊谷縣暢發校
文部省	(1875)	36丁	熊谷縣暢發校
金港堂蔵版 原亮三郎出版	1886	43丁	群馬縣師範費
金港堂蔵版 原亮三郎出版	1886	34丁	群馬縣師範費
金港堂蔵版 原亮三郎出版	1886	57丁	群馬縣師範費
(小林義則発行兼印刷) 文學社發兌	(1888)	20丁	なし
小林義則発行兼印刷 文學社發兌	1888	40丁	なし
小林義則発行兼印刷 文學社發兌	1892	37	郷土教育
集英堂蔵版 小林八郎發行	1893	27丁	群馬県師範學校附属小学校
集英堂蔵版 小林八郎發行	1893	39丁	群馬県師範學校附属小学校
集英堂蔵版 小林八郎發行	1893	38丁	群馬県師範學校附属小学校
集英堂蔵版 小林八郎發行	1893	35丁	群馬県師範學校附属小学校
集英堂蔵版 小林八郎發行	1893	57丁	群馬県師範學校附属小学校
集英堂蔵版 小林八郎發行	1893	93丁	群馬県師範學校附属小学校
集英堂蔵版 小林八郎發行	1893	70丁	群馬県師範學校附属小学校
集英堂蔵版 小林八郎發行	1893	78丁	群馬県師範學校附属小学校
集英堂蔵版 小林八郎發行	1893	57丁	群馬県尋常師範學校附属小学校
集英堂蔵版 小林八郎發行	1893	93丁	群馬県尋常師範學校附属小学校
集英堂蔵版 小林八郎發行	1893	70丁	群馬県尋常師範學校附属小学校
集英堂蔵版 小林八郎發行	1893	78丁	群馬県尋常師範學校附属小学校
集英堂蔵版 小林八郎發行	1893	27丁	群馬県尋常師範學校附属小学校
集英堂蔵版 小林八郎發行	1893	39丁	(群馬県尋常師範學校附属小学校)
集英堂蔵版 小林八郎發行	1893	38丁	(群馬県尋常師範學校附属小学校)
集英堂蔵版 小林八郎發行	1893	35丁	(群馬県尋常師範學校附属小学校)
集英堂蔵版 小林八郎發行兼印刷	1893	27丁	郷土教育

No.	書名 (題簽)	著者
42	小學理科新書 甲種 卷之二	學海指針社 [編輯]
43	(小學理科新書 甲種 卷之三)	學海指針社 [編輯]
44	小學理科新書 甲種 卷之四	學海指針社 [編輯]
45	(小學理科新書 甲種 卷之一)	學海指針社 [編輯]
46	(小學理科新書 甲種 卷之三)	學海指針社 [編輯]
47	(小學理科新書 甲種 卷之四)	學海指針社 [編輯]
48	小學理科新書 甲種 卷之一	學海指針社 [編輯]
49	小學理科新書 甲種 卷之二	學海指針社 [編輯]
50	小學理科新書 甲種 卷之二	學海指針社 [編輯]
51	(小學理科新書 甲種 卷之四)	學海指針社 [編輯]
52	小學理科新書 甲種 卷之二	學海指針社 [編輯]
53	小學理科新書 甲種 卷之四	學海指針社 [編輯]
54	(小學理科新書 甲種 卷之三)	學海指針社 [編輯]
55	(小學理科新書 甲種 卷之四)	學海指針社 [編輯]
56	小學理科新書 甲種 卷之一	學海指針社 [編輯]
57	小學理科新書 甲種 卷之一	學海指針社 [編輯]
58	(小學理科新書 甲種 卷之一)	學海指針社 [編輯]
59	(小學理科新書 甲種 卷之二)	學海指針社 [編輯]
60	小學理科新書 甲種 卷之二	學海指針社 [編輯]
61	(小學理科新書 甲種 卷之三)	學海指針社 [編輯]
62	小學理科新書 甲種 卷之三	學海指針社 [編輯]
63	小學理科新書 甲種 卷之四	學海指針社 [編輯]
64	小學理科新書 甲種 卷之三	學海指針社 [編輯]
65	高等小學理科書 卷之一 前編	伊澤修二 [閱] 教育學館 [編輯]
66	高等小學理科書 卷之一 後編	伊澤修二 [閱] 教育學館 [編輯]
67	高等小學理科書 卷之二 前編	伊澤修二 [閱] 教育學館 [編輯]
68	高等小學理科書 卷之二 後編	伊澤修二 [閱] 教育學館 [編輯]
66	高等小學理科書 卷之一 前編	伊澤修二 [閱] 教育學館 [編輯]
67	高等小學理科書 卷之一 後編	伊澤修二 [閱] 教育學館 [編輯]
68	高等小學理科書 卷之二 前編	伊澤修二 [閱] 教育學館 [編輯]
69	高等小學理科書 卷之二 後編	伊澤修二 [閱] 教育學館 [編輯]
67	高等小學理科書 卷之一 前編	伊澤修二 [閱] 教育學館 [編輯]
68	高等小學理科書 卷之一 後編	伊澤修二 [閱] 教育學館 [編輯]
69	高等小學理科書 卷之一 前編	伊澤修二 [閱] 教育學館 [編輯]
70	高等小學理科書 卷之二 後編	伊澤修二 [閱] 教育學館 [編輯]
77	小學理科新書 卷一下	小學校教授法研究會 [編纂]
78	小學理科新書 卷二上	小學校教授法研究會 [編纂]
79	小學理科新書 卷二下	小學校教授法研究會 [編纂]
80	小學理科新書 卷三上	小學校教授法研究會 [編纂]
81	小學理科新書 卷三下	小學校教授法研究會 [編纂]
82	小學理科新書 卷四上	小學校教授法研究會 [編纂]
83	小學理科新書 卷四下	小學校教授法研究會 [編纂]
84	學校家庭 理科讀本 海上之部前編	後藤牧太 三宅たつ子 [校閱] 川田鐵彌 [編纂]
85	學校家庭 理科讀本 海上之部後編	後藤牧太 三宅たつ子 [校閱] 川田鐵彌 [編纂]
86	學校家庭 理科讀本 陸上之部後編	後藤牧太 三宅たつ子 [校閱] 川田鐵彌 [編纂]
87	参版 最新 高等小學理科教科書 第壹册	新保磐次 長尾横太郎 杜亜泉 張元濟 [校訂]
88	参版 最新 高等小學理科教科書 第貳册	(新保磐次 長尾横太郎 杜亜泉 張元濟) [校訂]
89	参版 最新 高等小學理科教科書 第參册	(新保磐次 長尾横太郎 杜亜泉 張元濟) [校訂]
90	参版 最新 高等小學理科教科書 第肆册	山陰謝洪寶 [編輯]
91	國定準據 補習理科 全	横山徳次郎 [著]

表6 目録6. 地文 (2冊)

No.	書名 (題簽)	著者
1	(天然地理書 上)	福井直正 [編輯] 田中登作 [校閱]
2	(天然地理書 下)	福井直正 [編輯] 田中登作 [校閱]

出版社(者)	出版年	頁判	初所蔵記録
集英堂藏板 小林八郎發行	1893	39丁	郷土教育
集英堂藏板 小林八郎發行	1893	38丁	郷土教育
集英堂藏板 小林八郎發行	1893	35丁	郷土教育
集英堂藏板 小林八郎發行	1893	27丁	郷土教育
集英堂藏板 小林八郎發行	1893	38丁	郷土教育
集英堂藏板 小林八郎發行	1893	35丁	郷土教育
集英堂藏板 小林八郎發行	1893	27丁	郷土教育
集英堂藏板 小林八郎發行	1893	39丁	郷土教育
集英堂藏板 小林八郎發行	1893	39丁	郷土教育
集英堂藏板 小林八郎發行	1893	35丁	郷土教育
集英堂藏板 小林八郎發行	1893	39丁	郷土教育
集英堂藏板 小林八郎發行	1893	35丁	郷土教育
集英堂藏板 小林八郎發行	1893	38丁	郷土教育
集英堂藏板 小林八郎發行兼印刷	1893	35丁	郷土教育
集英堂藏板 小林八郎發行	1893	27丁	郷土教育
集英堂藏板 小林八郎發行	1893	24丁	郷土教育
集英堂藏板 小林八郎發行兼印刷	1893	27丁	郷土教育
集英堂藏板 小林八郎發行兼印刷	1893	39丁	郷土教育
集英堂藏板 小林八郎發行	1893	39丁	郷土教育
集英堂藏板 小林八郎發行	1893	38丁	郷土教育
集英堂藏板 小林八郎發行兼印刷	1893	38丁	郷土教育
集英堂藏板 小林八郎發行	1893	35丁	郷土教育
集英堂藏板 小林八郎發行	1893	38丁	郷土教育
大日本圖書株式會社發行兼印刷	1894	32丁	群馬縣師範學校附属小學校
大日本圖書株式會社發行兼印刷	1894	34丁	群馬縣師範學校附属小學校
大日本圖書株式會社發行兼印刷	1894	30丁	群馬縣師範學校附属小學校
大日本圖書株式會社發行兼印刷	1894	38丁	群馬縣師範學校附属小學校
大日本圖書株式會社發行兼印刷	1894	32丁	群馬縣尋常師範學校附属小學校
大日本圖書株式會社發行兼印刷	1894	34丁	群馬縣尋常師範學校附属小學校
大日本圖書株式會社發行兼印刷	1894	30丁	群馬縣尋常師範學校附属小學校
大日本圖書株式會社發行兼印刷	1894	38丁	群馬縣尋常師範學校附属小學校
大日本圖書株式會社發行兼印刷	1894	32丁	郷土教育
大日本圖書株式會社發行兼印刷	1894	34丁	郷土教育
大日本圖書株式會社發行兼印刷	1894	32丁	郷土教育
大日本圖書株式會社發行兼印刷	1894	38丁	郷土教育
小林義則發行兼印刷 文學社發兌	1903	72	(群馬縣師範學校附属小學校)
小林義則發行兼印刷 文學社發兌	1903	60	(群馬縣師範學校附属小學校)
小林義則發行兼印刷 文學社發兌	1903	68	(群馬縣師範學校附属小學校)
小林義則發行兼印刷 文學社發兌	1903	74	(群馬縣師範學校附属小學校)
小林義則發行兼印刷 文學社發兌	1903	89	(群馬縣師範學校附属小學校)
小林義則發行兼印刷 文學社發兌	1903	84	(群馬縣師範學校附属小學校)
小林義則發行兼印刷 文學社發兌	1903	98	(群馬縣師範學校附属小學校)
同文館藏版 同文館發兌	1904	101	群馬縣師範學校附属小學校
同文館藏版 同文館發兌	1904	100	群馬縣師範學校附属小學校
同文館藏版 同文館發兌	1904	103	群馬縣師範學校附属小學校
商務印書館印行 (上海)	(1905)	40丁C	群馬縣師範學校
商務印書館印行 (上海)	(1905)	45丁C	群馬縣師範學校
商務印書館印行 (上海)	(1905)	49丁C	群馬縣師範學校
商務印書館印刷發行 (上海)	1905	54丁C	群馬縣師範學校
寶文館藏版 寶文館發兌 (&大阪)	1906	140	群馬縣師範學校

出版社(者)	出版年	頁判	初所蔵記録
金港堂藏 (原三千作出版)	(1882)	25丁	郷土教育
(金港堂藏) 原三千作出版	1882	50丁	郷土教育

4. 初所蔵印が示す組織の考察

我々が目録化した図書には、所蔵の遍歴を示すいくつかの朱印が押され、またいくつかのラベルが貼られている。それらは図書の来歴とともに群馬大学の歴史をも示す貴重な記録である。それらの記録中、図書の読み始めの頁部分欄外に押された朱印から、我々はその図書の初所蔵を識別した。初所蔵を示す印字は3節に掲載した目録の初所蔵記録の欄に記載した。ここでは、初所蔵を示す印字、11種類をまとめて示し、それらが現す組織の歴史的背景を考察する。上記の11種類とはすなわち、「十七番中學本部學校」、「熊谷縣暢發校」、「群馬縣第五課」、「群馬縣編纂課」、「群馬縣師範費」、「群馬縣衛生所」、「群馬縣醫學校」、「群馬縣女學校」、「群馬縣師範學校附属小學校」、「群馬縣尋常師範學校附属小學校」、及び、略記して「郷土教育」である。

「十七番中學本部學校」は、明治5年頒布の学制による学区制がしかれていた時期の学校の名前で、正確には第一大学区第「十七番中學本部學校」といったと思われる⁸⁾。十七番中学とは第一大学区（現在の群馬県の位置を含む）における十七番目の中学区という意味である。当時の群馬県（以下第一次群馬県）に教員養成機関として設けられたのは、明治6年2月、前橋に開設の小学教員伝習所⁹⁾であった。第一次群馬県は、明治6年6月から現埼玉県の一部と合併し熊谷県となるが、それにともない前橋の小学教員伝習所は場所を本庄に移され、熊谷県暢發學校と改称される⁹⁾。「熊谷縣暢發校」は熊谷県暢發學校で用いられていたと考えられる。この時期、「十七番中學本部學校」は、十七番中学区内の小學校を統括する所であり、また教員養成の機関でもあった¹⁰⁾。熊谷県暢發學校と同時に存在したが、熊谷県暢發學校よりは短期の教員養成機関であったようである¹¹⁾。この「十七番中學本部學校」は前橋の小学教員伝習所より古くから存在したのかどうか、つまり、最初の教員養成機関であったのかどうかは、現在のところ判明していない。

熊谷県は明治9年8月までであり、引続き第二次群馬県が設置され、同時に熊谷県暢發學校の後身として群馬県師範學校が誕生する¹²⁾。「群馬縣第五課」は第二次群馬県初期において、群馬県師範學校の経理事務を担当していた課であった¹³⁾。「群馬縣編纂課」も同時期に存在したと思われるが、現在のところ、その名前を含む資料を探し当てていない。「群馬縣師範費」は初期の群馬県師範學校において用いられていたと考えられる。

明治7年1月、熊谷県に衛生局が創設された¹⁴⁾。熊谷県衛生局は明治8年8月に熊谷県衛生所となるが¹⁴⁾、これが「群馬縣衛生所」の前身である。明治9年5月、熊谷県医學校の開業伺いが出された¹⁵⁾。やがて明治11年8月、第二次群馬県の初代県令梶取素彦（在任明治9年8月から17年7月）の強い意志のもとに、「群馬縣醫學校」が群馬県庁の側に建設された¹⁶⁾。しかし経営費用等の困難で「群馬縣醫學校」は明治14年7月には閉じた¹⁷⁾。「群馬縣女學校」はやはり梶取の意向を反映して、明治15年7月に設けられたが¹⁸⁾、明治18年の県会ですでに閉校の決議がされた¹⁹⁾。実際には寄付等で、明治21年頃まで存続したようである²⁰⁾。教員養成機関の附属小學校は熊谷県暢發學校の時代から教員を志願する者の訓練校として存在した²¹⁾。熊谷県暢發學校が群馬県師範學校に改称されるとともに、附属小學校は「群馬縣師範學校附属小學校」と名称変更された。同様に「群馬縣尋常師範學校附属小學校」は、明治19年4月、群馬県師範學校が群馬縣尋常師範學校と改称されたこととともなって、「群馬縣師範學校附属小學校」から名称変更されたものである。

最後の略記「郷土教育」印は上の系列とは来歴を全く異にする。略記「郷土教育」印としたが、実際は3行に分かれ、「群馬縣女子師範學校・教科第何（ペン字）號・郷土研究室」となっている。即ち、群馬県女子師範學校郷土研究室の蒐集本であることを示す印である。この由来を調べる中で、昭和初期の郷土研究運動が浮かび上がって来た。群馬県女子師範學校では、昭和2年から9年まで在職した野々山源治教諭（昭和2年歴史科主任、昭和3年から地理科主任）が、藤見陸治校長（在任昭和4年5月から9年3月）と共に郷土研究に邁進した²²⁻²⁴⁾。野々山教諭は昭和9年1月5日に31歳で夭折した²⁵⁾。著者の一人である玉置は、略記「郷土教育」印のある教科書群のラベルに記された学生名とその学年をもとに、旧教科書蒐集の時期を見積もり、昭和6年夏、在校生の夏休みの課題として行なわれたと考えるのが自然であるとの結論を得ている³⁾。群馬大学附属図書館特殊資料室には、昭和7年4月30日－5月1日に行われた群馬県女子師範學校の創立30周年記念行事の際に印刷された郷土研究室公開の展示目録²⁶⁾と郷土室概要²⁷⁾が保存されている。前者には「群馬縣明治初年以

後三十七年に至る小學校教科書」という表示があり、後者には「X 本校郷土室備品数 イ 圖書」の中に「7 教育（舊小學校教科書が主）679部」と記されている。それらの記述は、玉置の推測を裏付けるものである。

5. まとめ

群馬大学附属図書館本館書庫並びに特殊資料室に保管されている旧群馬県師範学校、群馬県女子師範学校から継承された明治期教科書のうち、我々が目録化した理系和装本 276 冊について、目録化の経緯を述べ、目録を掲載し、目録に示した初所蔵印が示す組織について考察を行なった。ここで、目に見える和装本の形状について簡単に述べておきたい（図 1 参照）。また目録を概観して見えてくる幾つかの特徴についても簡単に述べる。まず図書の形状は、版木を起して和紙に印刷し、糸で和綴じにしたものが多い。明治 20 年頃までの図書の表紙は、赤・黄・緑・紺・紫・黒と色鮮やかで、中には図柄や小紋の紋様を浮き立たせているものもある。そこに短尺様の題簽が張り付けられている。各図書の印刷の程度は、前文・本文とも鮮明で、読むことに耐えるものである。明治の文字に慣れれば、誰でも通読する事は難しくはない。多くが生徒用教科書なので、これは当然のことであるともいえる。しかし必ずしも現代人にとって通読にとりかかるのが容易でないのは、現代用語のカタカナがひらがなで書かれ、ひらがながカタカナで書かれ、現代で用いられない漢字があり、また時として漢字が現代では用いられない読みをもっているためである。また文中、特殊な記号が言葉として使われていることも、不慣れなものとしてのハードルである。目録 1～6 に掲載された図書の出版年は明治 2 年（西暦 1869 年、以下西暦の数字のみ記す）から、明治 39 年（1906）であり、明治の始まりから約 40 年間に渡っている。明治 28 年（1895）頃から急速に理系和装本の数が減っていることから、その頃から、理系図書の形状は西洋書風に移行したのではないかと推定される。上記目録を今回、物理、化学、博物、生理、総合科学・理科、地文と分けて表示したが、それぞれの内容が現代の義務教育課程においてはどのような科目で扱われているのかを比較検討することは大切なことであろう。それは、児童・生徒の理系教育課程はどうあるべきかを考える上で必要なことではないかと考える。また、物理と総合科学・理科と分けて表示したのは、明治 20 年（1887）に、書名に物理と理科の両方の文字をもつ和装教科書が現れ、以後物理が消えているからである。一方理科という文字のみをもつ和装教科書は明治 19 年（1886）に現れ、目録中最後代まで続いている。そのことは、明治 19 年頃に、物理を教科にすることへの国の方針が大きく変わったことを示しているのではないだろうか。以上、図書の形状とともに、目録に見える幾つかの特徴的な点を述べた。今後は我々として、また個人として、個々の図書の内容を吟味し、現代との比較検討を行い、未来に継承すべきものは何かを見出していきたいと考えている。

謝辞

この論文に掲載された目録を作製する過程で、一部に福武学術文化振興財団から課題「旧群馬師範学校・群馬女子師範学校から継承された群馬大学所蔵明治期理科教育関係資料の整理・分析・目録作製・公開」で得た研究助成金を使用しています。ここに同財団に厚く感謝申し上げます。

参考資料

- 1) 大学の物理教育 2001-2 p.2, p.72 日本物理学会 2001.7.15 発行
- 2) 高橋 浩 熊谷県暢発学校の頃の蔵書：『窮理図解』と“*Natural philosophy*” 群馬大学図書館報 LINE〈特集 教科書から見えてくるもの〉 No.287 pp.3-5 2002.12.25 発行
- 3) 玉置豊美 群馬大学附属図書館書庫と特殊資料室に保管されている群馬県女子師範学校郷土研究室蒐集本の背景 群馬大学図書館報 LINE〈特集 教科書から見えてくるもの〉 No.287 pp.6-12 2002.12.25 発行
- 4) 玉置豊美・高橋浩・赤羽明・所澤潤・森下貴司・滝沢俊治 群馬大学図書館に所蔵される明治期物理・理科教科書の由来 日本物理学会第 58 回年会 講演概要集第 2 分冊 p.375 2003.3.29

- 5) 赤羽明・高橋浩・玉置豊美・森下貴司・所澤潤 群馬大学所蔵明治期教科書の調査について－物理関係書を中心に－ 日本科学史学会第 49 回年会 研究発表講演要旨集 p.25 2002.5.26
- 6) 赤羽明・高橋浩・玉置豊美・所澤潤・森下貴司・滝沢俊治 群馬大学資料から眺めた明治期の科学教育－総合化への移行過程の検証－ 日本物理学会第 58 回年会 講演概要集第 2 分冊 p.374 2003.3.29
- 7) <http://www.madlabo.com/mad2/meiji-text/>
- 8) 文部省第一年報 明治六年 p.9
- 9) 前掲 8) pp.9-10
- 10) 佐藤秀雄編 府県史料教育第三巻 p.206 ゆまに書房 昭和 60 年 11 月 20 日発行
- 11) 前掲 10) pp.206-215
- 12) 文部省第四年報 明治九年 第一冊 p.93
- 13) 前掲 12) p.96
- 14) 前掲 10) p.248
- 15) 前掲 10) p.257
- 16) 前掲 10) p.263
- 17) 文部省第九年報 明治十四年 p.209, p.216
- 18) 群馬縣諸達沿革表 p.90 群馬縣調査係印刷 明治 17 年 9 月 10 日刻成納本
- 19) 文部省第十四年報 明治十九年分 pp.95-96
- 20) 群馬県教育史研究編さん委員会編さん事務局, 群馬県教育センター 群馬県教育史 第一巻 p.778 群馬県教育委員会 昭和 47 年 3 月 30 日発行
- 21) 文部省第二年報 明治八年 p.77
- 22) 編輯兼発行 野々山源治 郷土調査要項 (本文 134 頁の冊子) 群馬縣女子師範學校郷土研究室 昭和 8 年 8 月 19 日発行
- 23) 編輯兼発行 野々山源治 郷土教育及郷土研究に関する文献目録 (本文 23 頁の冊子) 群馬縣女子師範學校郷土研究室 昭和 8 年 8 月 20 日発行
- 24) 編輯兼発行 野々山源治 群馬縣関係文献地方別目録 (本文 125 頁の冊子) 群馬縣女子師範學校郷土研究室 昭和 8 年 8 月 28 日発行
- 25) 編輯兼発行 杉山榮一郎 野々山源治先生追悼號 (本文 33 頁の冊子) 群馬縣女子師範學校校友會 校友會誌第三十號 昭和 9 年 4 月 7 日発行
- 26) 群馬縣女子師範學校 創立三十周年記念郷土研究資料展覽會出品目録 (1 枚のリーフレット) 昭和七年四月二十九日三十日五月一日 群馬大学附属図書館特殊資料室所蔵
- 27) 群馬女師郷土室 群馬縣女子師範學校郷土室概要 (1 枚のリーフレット) 昭和七年四月二十五日 群馬大学附属図書館特殊資料室所蔵